

2022年 全国 公立高校入試の傾向 国語

出題作品ランキング

論理的文章

	著者	作品
1	藤田正勝	はじめての哲学
2	田中修	植物のいのち
3	河野哲也	問う方法・考える方法
次点	稲垣栄洋	雑草の成功戦略
		はずれ者が進化をつくる
	松浦弥太郎	なくなったら困る100のしあわせ おいしいおにぎりが作れるならば。

古文

	作品
1	御伽草子集・徒然草
2	伊曾保物語・古今著聞集・十訓抄 沙石集・筆のすさび・無名抄・耳囊

漢文

	作品
1	韓非子
2	世説新語 蒙求

小説

	著者	作品
1	天沢夏月	ヨンケイ！！ 17歳のラリー
2	村山由佳	雪のなまえ
3	鈴木ふみ	櫓太鼓がきこえる
次点	青谷真未	水野瀬高校放送部の四つの声
	青山美智子	赤と青とエスキース
		お探し物は図書室まで
	朝倉宏景	あめつちのうた
	阿部暁子	パラ・スター<Side 宝良>
		パラ・スター<Side 百花>
	東直子	階段にパレット
	まはら三桃	零から0へ
鉄のしぶきがはねる		
森谷明子	春や春	
	南風吹く	

出題作品の傾向

◆論理的文章の傾向は大きくは変わらず、植物や生物などの自然科学や哲学、社会学などが題材としてよく選ばれています。頻出著者の傾向にも大きな変化はありませんでした。

★頻出著者の新しい書籍が題材として選ばれることが多いと言えます。ただし、第3位の「問う方法・考える方法」のように、教育や社会、コミュニケーションなどといった新しいトピックスも、毎年何県かで出題されるので注意が必要です。

◆小説の傾向ですが、近年は部活やスポーツなどを背景として、同年代の仲間とのふれあいを通じた主人公の成長を描いた作品が頻出です。2022年もその傾向に変化はありませんでした。

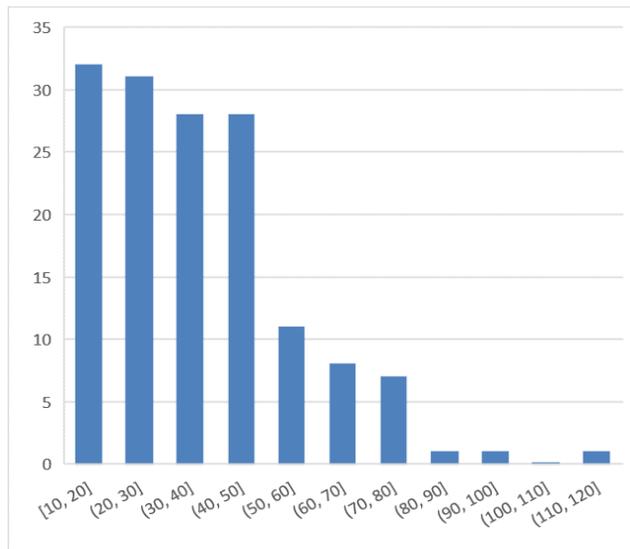
★著者・作品が毎年がらりと変わり、しかもかなりの長文で出題されることが多いのが、小説読解の特徴です。過去の頻出作品を追うよりも、何が選ばれても、時間内にきちんと場面や心情の変化を読み取り、主題をつかむ力を養っておくことが重要です。

【おすすめ教材】

ウイニング・ウイニングPlus
ウイニングフィニッシュ
入試パターン別問題集+10

記述問題

記述問題出題数



◆ほとんどの都道府県で記述問題を出题しています。各県の平均出題数は3.9問（課題作文を除く）です。

10字程度から50字程度までを書かせる問題が多いですが、例年60字を超える記述が出题される県も15県程度あります。

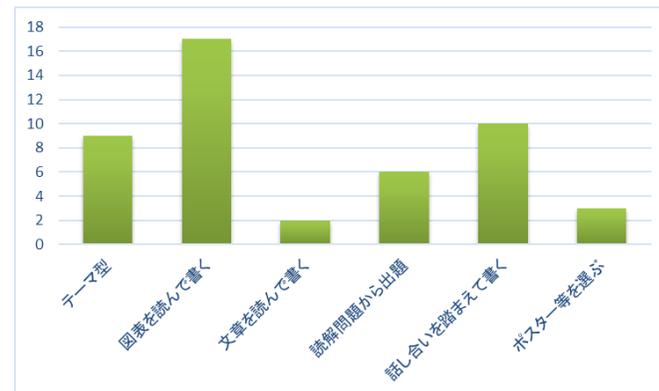
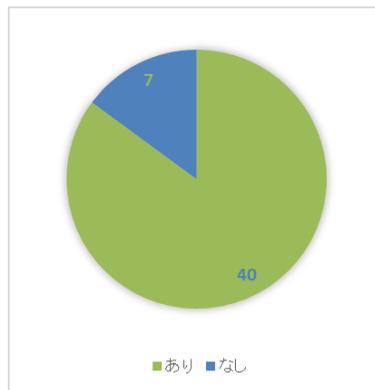
★記述問題は、答えがなんとなくわかるだけでは解答できません。問題文に示された条件を守り、正しい文法で書く必要があります。

【おすすめ教材】

ウイニング、記述問題の解き方

課題作文

課題作文出題県数



◆2022年は、40都道府県で課題作文が出题されています。

全体としてはグラフや表などのデータを読み、それを踏まえて書く作文が多くなっています。また、増加傾向にあるものとしては、クラスやグループ、生徒会での話し合いを踏まえて書く作文が目立つようになってきています。文章を踏まえて書く作文は、課題作文の資料として文章が掲載されているものと、読解問題の1問として作文問題が設けられているものがあります。

★課題作文では、問題の指示に正しく答えているかどうか最も重要です。

「2段落で」と指示されているのに1段落で書いたり、指定の字数に満たなかったりすることのないように書きましょう。

また、係り受けの誤りや誤字脱字などで減点の対象とならないように注意しましょう。

なお話し合いは、単独で大問が作られたり、読解問題の中で出されたりするなど、近年特に目立ってきた問題形式と言えるので、今後も注意が必要です。

【おすすめ教材】

ウイニング、ロジカル国語表現V